

スイートコーン新品種
「ミエルコーン84」(試作系統名
SBS-103)

の特性と栽培のポイント

雪印種苗株式会社
園芸作物研究グループ
野菜研究チーム
主任 広瀬 慶多

▲「ミエルコーン84」の栽培風景(北海道)

1.はじめに

スイートコーンの品種開発が進み、近年では産地から食味の良い黄色種が多く出荷されるようになりました。弊社は青果向けの黄色種として「ミエルコーンシリーズ」を販売し、ご愛顧いただいております。産地の安定出荷にさらに貢献できるように、この度「ミエルコーンシリーズ」の早生ラインナップをリニューアルして、「ミエルコーン84」を発売いたしました。「ミエルコーン84」は早播きでもボリューム、先端稃実および食味が期待できる新品種です。本品種の特性および栽培のポイントについて紹介いたします。

2.「ミエルコーン84」の特性概要

◎トンネル促成栽培など早播きでもボリュームが期待できる84日タイプの黄色早生種。

◎穂形のバランスが良く、先端稃実が優れる。

◎食味に優れ、果皮は軟らか過ぎず収穫後のしなびが出にくい。



▲穂形のバランスが良く、先端稃実に優れる「ミエルコーン84」

ミエルコーン84の特性

①熟期

一般地・暖地では84日程度で収穫できる早生種で、北海道や高冷地など冷涼地では97日程度で収穫できます。

②草姿の特性

草丈は160~170cm程度と低いため風の影響を受けにくく、耐倒伏性は比較的良好です。分けつは少なめでややすっきりとした草姿です。初期生育が良好、揃い性も優れるので一斉に収穫しやすい品種です。

③穂の特性

ハスクのかぶりとしまりが良好で穂先露出のリスクが少ないのが特徴です。穂長は19~20cm、穂径は5.3~5.5cm程度でバランスの良い穂形、穂重は420gとボリュームがあります。先端稃実に優れ、促成栽培でも安定して良好です。粒色は照りのある鮮やかな黄色、粒列は並びがきれいです。列数は18列が中心です。

④食味

早生種としては甘味が強く、食味に優れます。果皮は軟らか過ぎないため、流通段階でしなびが出にくい傾向があります。

品種比較試験3ヵ年成績(2015年~2017年平均値)

千葉研究農場

No.	品種	生育 日数	草丈	着雌 穂高	穂重		穂長		穂径	列数	甘味	果皮 硬さ	ハスク		耐 倒伏
		皮付	剥皮		全	不稔長	色	かぶり							
													日	cm	
○ 露地マルチ栽培 (4/15～21播種)															
1	ミエルコーン84	81	164	43	458	306	19.7	0.1	5.5	18.3	7.3	7.0	-	8.0	5.5
2	ミエルコーン	84	175	36	405	300	19.0	0.6	5.4	14.0	6.5	7.0	-	7.0	4.0
3	ミエルコーン89	85	181	43	468	323	20.6	0.5	5.3	16.1	7.0	6.0	-	7.5	8.0
4	他品種A	80	173	41	451	291	20.7	0.0	5.3	16.8	7.5	7.0	-	7.3	5.0

*) ミエルコーンは2ヶ年(2015年~2016年)平均

品種比較試験3ヵ年成績(2015年~2017年平均値)

北海道研究農場

No.	品種	生育	草丈	着雌 穂高	穂重		穂長		穂径	列数	甘味	果皮 硬さ	ハスク			耐 倒伏		
		日数			皮付 g/本	剥皮 g/本	全 cm	不稔長 cm					色	かぶり	9=濃		9=良	9=強
○ 露地マルチ栽培 (5/11~13播種)																		
1	ミエルコーン84	99	170	39	461	339	19.5	0.0	5.2	18.5	7.2	6.3	7.0	8.3	6.8			
2	ミエルコーン	102	179	44	459	312	19.7	0.3	5.1	16.1	6.5	6.7	6.8	6.7	7.0			
3	ミエルコーン89	104	197	60	441	310	20.9	0.5	4.8	16.7	7.3	5.7	6.2	8.0	8.0			
4	他品種A	98	183	36	445	314	19.1	0.1	5.2	17.3	7.0	6.9	6.8	7.5	6.8			

3.栽培のポイント

1) 作型

各地域に適した播種期と予想収穫期は別表の通りです。本品種は初期生育が良好な早生種で、低温での雌穂肥大が良いことからトンネル促成栽培～露地マルチ栽培で特性を発揮します。短秆でハウス栽培にも適しますが、雄穂抽出期以降の圃場乾燥には注意してください（過乾燥は受粉不良の可能性あり）。

本品種は高温期の栽培も可能ですが、早生のため葉数を確保できないまま出穂してしまい肥大が期待できないことがあります。マルチ後半作型以降の遅播きについては中生種「ミエルコーン89」の方が収量を期待できます。作型に応じた品種を使い分けることが安定した出荷につながります。

○播種時の留意点

スイートコーン栽培の最も重要なポイントが初期生育です。特に促成栽培では

品種の能力以外にも栽培による対策が必要となります。発芽を揃え、根張りを促し、良好な初期生育を確保してこそ高品質での収穫が期待できます。発芽を良好に揃えるには、播種1週間前頃にマルチ被覆をおこなうなど十分な地温および適度な土壤水分を確保することが重要です。弊社販売の植物活力資材「ネチからアップ」を利用すると発芽直後の根張り強化が期待できます。播種期の気候は不順であることが多く、2~3粒播きとして欠株を防ぎ、生育の揃った株を残すように間引いてください。

2) 栽植密度

大型の穂を安定して収穫するには一般地・暖地では4,000株/10a、北海道・高冷地では3,800株/10aを目安とします。

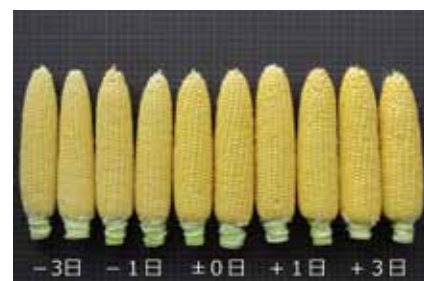
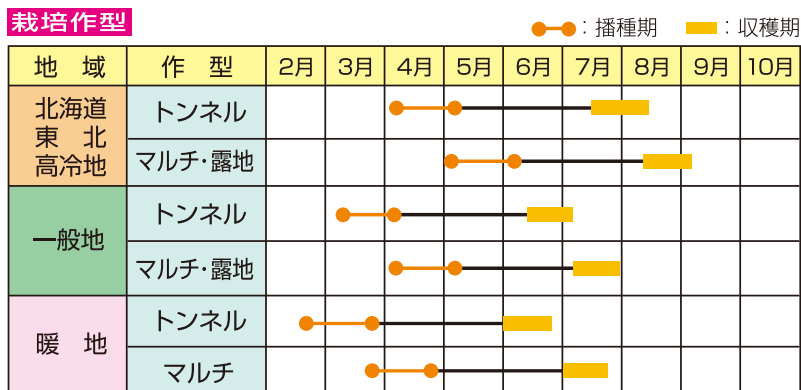
3) 肥培管理と土作り

早生種のため元肥を重視した施肥設計として、全量のうち窒素分で70%程度を元肥として施用します。地温が低く、肥

料が効きにくい作型ではやや多めとします。追肥は2回に分けて施用するのが有効で、1回目は本葉5枚期頃（幼穂形成期）、2回目は雄穂抽出期としてNK化成など即効性肥料でおこないます。追肥管理が困難な場合は、ロング肥料など緩効性肥料を併用して多肥管理としてください。後半の生育には化成肥料以外に圃場の地力も影響しますので、普段から緑肥や堆肥を利用して有機物に富んだ土作りを心がけてください。

4) 收穫

収穫の目安は絹糸抽出後23日程度（冷涼地や促成栽培では25日程度）ですが、絹糸抽出後の積算気温によって変動しますので作型やその年の天候によって前後します。絹糸抽出日からの日数を目安に試し穫りをおこなって先端の粒色と粒の張り具合の確認および食味判定により適期を判定してください。本品種は早生種であるため収穫期間がやや短く、穫り遅れには特に注意が必要です。



▲ 弊社北海道研究農場(長沼町)
マルチ栽培での成熟の推移

マルチ種類と栽植密度（適した栽植密度は太字）

マルチ中心間 マルチ種類	150cm	160cm	170cm	180cm	190cm
9230	4,444	4,167	3,922	3,704	3,509
9235	3,810	3,571	3,361	3,175	3,008

「ミエルコーン 84」の施肥例 (kg/10a)

作 型	元 肥			追 肥
	窒素	リン酸	カリ	NK 化成など (ロングで対応可)
トンネル	15～18	28	15～18	窒素 7～9
露地マルチ	14	24	14	窒素 6～8

4. おわりに

今回紹介した新品種「ミエルコーン84」は春の早播きで特性を発揮しやすい早生種です。作型に応じて中生種「ミエルコーン89」と使い分けていただき、「ミエルコーンシリーズ」が各産地の安定出荷に貢献できたら幸いです。

弊社は「ピュアホワイト」や「グラビス」など、「ミエルコーンシリーズ」以外にもバラエティーに富んだスイートコーン品種を揃えております。今後とも雪印種苗のスイートコーンをよろしく願っています。